

医療安全に関するコスト調査について（案）

1. 調査の目的及び進め方

- 医療安全に係る診療報酬として、入院基本料に対する1) 入院診療計画未実施減算、2) 院内感染防止対策未実施減算、3) 医療安全管理体制未整備減算、4) 褥瘡対策未実施減算、5) 褥瘡患者管理加算一など、既に施設基準が定められ、点数化されているものがある。
- 一方、医療安全の向上のために1) 安全に関する管理体制の充実、2) 医薬品の安全確保、3) 医療機器の安全確保、4) 医療安全における情報技術（IT）の活用、5) 医療従事者の資質向上一といった項目への取り組みの強化が求められている。そこで、本調査は、医療安全に関するコストの実態を把握し、診療報酬体系における評価の在り方について検討するための資料を作成するとともに、今後の医療安全への取り組み方を検討するための基礎資料を得ることを目的とする。
- 平成17年度においては、医療安全に関して先進的な取り組みを行っている医療機関等を対象に、医療安全を保証・改善させるための活動状況等を明らかにすることを目的とする。さらに、平成17年度調査の結果を踏まえ、医療安全に係るコスト範囲等を確定し、平成18年度にはより幅広い医療機関等を対象として、医療安全に関するコスト調査を実施するものとする。

2. 調査対象及び方法

- 病院、一般診療所、歯科診療所、保険薬局を調査対象とする。
- 調査対象の選定に当たっては、病院のうち下掲の厚生労働科学研究の調査対象としていない規模の病院（300床未満を想定）を10施設程度、一般診療所等も各10施設程度を対象として書面調査を行い、その中から各5施設を選定してヒアリング調査を行う。

※ 調査の効率化を図る観点から、「医療のIT化に係るコスト調査」と一部同一の施設を対象にすることが考えられる。

なお、300床以上の病院10施設程度については、厚生労働科学研究「医療における安全・質確保のための必要資源の研究」（主任研究者 今中雄一・京都大学教授）から調査結果を提供してもらう予定である。

3. 調査内容

- 本調査では、1) 安全管理、2) 感染制御、3) 医薬品関連—について分析を行う。なお、重複部分を明確に区分できるようにする。
- それぞれについて、取り組み状況を把握し、1) 有害事象の発生の予防のためのコスト、2) 安全水準を維持・評価するためのコスト、3) 有害事象への対応のためのコスト—等を調査する。また、医療安全対策の効果を計測するための指標（クリニカルインディケータ等）についても調査を行う。

4. 調査実施体制

- シンクタンクへの委託調査とし、当該シンクタンク内に今中雄一・京都大学教授を主任研究者とする検討委員会を設けて調査を行うこととする。

5. スケジュール

- 平成17年10月～ 調査対象施設の選定、調査の実施、集計・分析
- 11月～ 調査結果の報告

6. 報告事項

調査票案（別紙参照）に基づく書面調査及びヒアリング調査を行い、対象施設区分ごとに下記の事項について報告するものとする。

[安全管理]

	病 院	一 般 診 療 所	歯 科 診 療 所	保 険 薬 局
安全管理に係る組織に要する人員配置状況	◎	○	○	—
安全管理に係る会議・委員会の取組状況	◎	○	○	—
安全管理に係る器材・機器・設備等の導入状況	◎	◎	◎	◎
安全管理に係る内部監査・ラウンドの取組状況	◎	○	○	—
安全管理に係る院内研修の取組状況	◎	○	○	—
安全管理に係る院外研修・活動の取組状況	◎	◎	◎	○
インシデントレポート作成・分析等の取組状況	◎	◎	◎	○
安全管理に係るマニュアル・手順書の作成状況	◎	◎	◎	◎
外部評価の受審状況	◎	○	○	—
医療機器・医薬品等の管理等の取組状況	◎	○	○	—
事故発生後の対応について	◎	◎	◎	◎
安全管理に係る確認作業等に要する活動状況	◎	◎	◎	◎
安全管理に係るその他の活動の取組状況	◎	◎	◎	◎

〔感染制御〕

	病 院	一 般 診 療 所	歯 科 診 療 所	保 険 薬 局
感染制御に係る組織に要する人員配置状況	◎	○	○	—
感染制御に係る会議・委員会の取組状況	◎	○	○	—
感染制御に係る器材・機器・設備の導入状況	◎	◎	◎	—
感染制御に係る器材・機器・設備の導入状況(職業感染対策等のもの)	◎	◎	◎	—
感染制御に係る内部監査・ラウンドの取組状況	◎	○	○	—
感染制御に係る院内研修の取組状況	◎	○	○	—
感染制御に係る院外研修・活動の取組状況	◎	◎	◎	—
病院感染サーベイランス等の取組状況	◎	○	○	—
感染制御に係るマニュアル・手順書の作成状況	◎	◎	◎	—
病院感染発生後の対応等について	◎	◎	◎	—
感染制御に係るその他の活動の取組状況	◎	◎	◎	—
感染性廃棄物処理・保管に係る取組状況	◎	◎	◎	—

〔医薬品関連〕

	病 院	一 般 診 療 所	歯 科 診 療 所	保 険 薬 局
医療安全対策委員会における医薬品関連対策の取組状況	◎	○	○	◎
医薬品に係る医療安全事例の報告システムとそれらの再発防止策への取組状況	◎	○	○	◎
医薬品の処方及び調剤に係る安全対策への取組状況	◎	○	○	◎
医薬品の保管・管理への取組状況	◎	○	○	◎
薬物相互作用防止への取組状況	◎	○	○	◎
感染防止対策への取組状況	◎	○	○	◎
業務従事者への薬物による影響防止への取組状況	◎	○	○	◎

※ ◎＝調査可能 ○＝調査可能だが取り組みは少ない見込 —＝調査項目に含まれない

医療安全に関するコスト調査票案

【基本情報】

調査用整理番号					
項目		平成11年度		平成16年度	
		許可病床	稼動病床	許可病床	稼動病床
病床の状況	1 一般病床	床	床	床	床
	2 療養病床	床	床	床	床
	[再掲]指定介護療養型施設	床	床	床	床
	3 精神病床	床	床	床	床
	[再掲]指定介護療養型施設	床	床	床	床
	4 結核病床	床	床	床	床
	5 感染症病床	床	床	床	床
入院患者の状況	1 在院患者数		人		人
	2 在院延べ数	延べ	人	延べ	人
	3 新入院患者数		人		人
	4 退院患者数		人		人
外来患者の状況	1 初診患者数		人		人
	2 再診患者延べ数	延べ	人	延べ	人
職員の状況 (常勤換算)	1 医師・歯科医師		人		人
	2 看護職員		人		人
	3 薬剤師		人		人
	4 医療技術員		人		人
	5 事務職員		人		人
	6 技能労務員・労務員		人		人
医業費用			千円		千円

(注) 以下に示す調査票は、厚生労働科学研究「医療における安全・質確保のための必要資源の研究」(主任研究者：今中雄一(京都大学教授、研究期間：平成16年度～平成18年度))において、京都大学大学院医学研究科医療経済学分野で作成されたものである。

医療の質と安全を保証・改善させるための取組状況に関する調査票【安全管理】

1. 安全管理に係る組織に要する人員配置状況について

問1：安全管理に係る取組を行う全ての担当者の職名を記入欄の①に記入して下さい。なお、安全管理部門などの部署に所属している場合は部署名を②に記入して下さい。
(例：ジェネラルリスクマネジャー、安全管理室長、リスクマネジャー、安全管理室員、安全管理推進者等)

問2：①に記入した職名に任命されている人数を職種別に記入欄の③に記入して下さい。
なお、医療技術員とは、診療放射線技師、臨床検査技師、栄養士など医療に関わる専門技術員を指します。

問3：①に記入した各職名の任命者の全活動時間のうち、安全管理に係る取組の活動時間の割合を2005年8月の活動時間に基づいて記入欄の④に記入して下さい。
(1週間毎日安全管理に係る活動している場合は100%、1週間の内1日だけ活動している場合は20%、半日だけ活動している場合は10%と考えると把握しやすいです)

問4：安全管理に係る計画・実施・分析等を院内で中心的に担う部署（安全管理部門）が駐在可能な場所の面積を記入欄の⑤に記入して下さい。また、コンピューター、コピー機の設置台数について記入欄の⑥に記入して下さい。

《 記 入 欄 》

	①安全管理の取組を行う担当者の職名	②所属	③各職名の職種別人数												④活動割合 (2005.8)	
			医師			看護師		薬剤師		医療技術員		事務管理系		役員		その他
			経験年数 10年未満	経験年数 10年以上	診療科長 以上	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上			
1			人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	%
2			人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	%
3			人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	%
4			人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	%
5			人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	%
6			人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	%
7			人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	%
8			人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	%
9			人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	%
10			人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	%

⑤駐在場所の面積	⑥コンピューター設置数	⑥コピー機設置数
およそ m ²	台	台

医療の質と安全を保証・改善させるための取組状況に関する調査票【安全管理】

2. 安全管理に係る会議・委員会の取組状況について

問1：2004年に開催した安全管理に係る全ての会議・委員会の種類を記入欄の①に記入して下さい。なお、近年になって安全管理のために回数や規模が増大した委員会についても記入して下さい。（例：安全管理に係る最高意思決定を執り行う安全管理委員会、事故調査委員会、安全管理部門での定例会議、医薬品・機器の使用・管理に関わる委員会、医療ガスに関わる委員会等）

問2：①に記入した会議・委員会の構成員の職種をそれぞれの会議について種類別に記入欄の②に記入して下さい。
なお、医療技術員とは、診療放射線技師、臨床検査技師、栄養士など医療に関わる専門技術員を指します。

問3：②に記入した構成員の内、安全管理部門に所属している人の人数を記入欄の③に記入して下さい。

問4：①に記入した会議・委員会を2004年に定例的および臨時的に開催した回数と平均的な開催時間を記入欄の④に記入して下さい。

《 記 入 欄 》

会議種類	① 2004年に開催した委員会・会議	②各会議・委員会の構成員数												③ 安全管理部門人数	④会議時間		
		医師			看護師		薬剤師		医療技術員		事務管理系		役員		その他	開催回数	平均時間
		経験年数 10年未満	経験年数 10年以上	診療科長 以上	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上					
1		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	回	時間
2		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	回	時間
3		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	回	時間
4		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	回	時間
5		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	回	時間
6		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	回	時間
7		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	回	時間
8		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	回	時間
9		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	回	時間
10		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	回	時間

医療の質と安全を保証・改善させるための取組状況に関する調査票【安全管理】

3. 安全管理に係る器材・機器・設備等の導入状況について

問1：1999年以降に導入した安全の維持・向上への貢献が期待できる全ての器材・機器・設備等について①導入項目、②費用、③算出の根拠（量・単価等）を記入欄に記入して下さい。
 （例：リストバンド、看護支援携帯端末、警報装置、転落防止器具、衝撃吸収床材、職員ワッペン、オーダーエントリーシステム、その他の関連する情報機器・設備等）

注：インシデントレポートに関係するものは、9ページに記入して下さい。

問2：①に記入した器材・機器・設備の購入費用が明らかな場合記入欄の②に記入して下さい。また、その算出の根拠（量、単価等）を③に記入して下さい。

	①1999年以降に導入した器材・機器・設備	②費用	③算出根拠（量、単価等）
1		およそ 万円	
2		およそ 万円	
3		およそ 万円	
4		およそ 万円	
5		およそ 万円	
6		およそ 万円	
7		およそ 万円	
8		およそ 万円	
9		およそ 万円	
10		およそ 万円	
11		およそ 万円	
12		およそ 万円	
13		およそ 万円	
14		およそ 万円	
15		およそ 万円	

医療の質と安全を保証・改善させるための取組状況に関する調査票【安全管理】

(補足用)

	①1999年以降に導入した器材・機器・設備	②費用	③算出の根拠(量、単価等)
16		およそ 万円	
17		およそ 万円	
18		およそ 万円	
19		およそ 万円	
20		およそ 万円	
21		およそ 万円	
22		およそ 万円	
23		およそ 万円	
24		およそ 万円	
25		およそ 万円	
26		およそ 万円	
27		およそ 万円	
28		およそ 万円	
29		およそ 万円	
30		およそ 万円	
31		およそ 万円	
32		およそ 万円	
33		およそ 万円	
34		およそ 万円	
35		およそ 万円	

医療の質と安全を保証・改善させるための取組状況に関する調査票【安全管理】

5. 安全管理に係る院内研修の取組状況について

問1：2004年に実施した安全管理に係る全ての院内研修を記入欄の①に記入して下さい。

問2：①に記入した院内研修の参加者数をそれぞれの研修について職種別に記入欄の②に記入して下さい。
 なお、医療技術員とは、診療放射線技師、臨床検査技師、栄養士など医療に関わる専門技術員を指します。

問3：①に記入した院内研修の1回当たりの開催時間を記入欄の③に記入して下さい。

問4：①に記入した院内研修の講師を記入欄の④に記入して下さい。

問5：①に記入した院内研修の諸経費（テキスト印刷費・謝金等）を記入欄の⑤に記入して下さい。不明な場合、院内での照会先を記入欄の⑥に記入して下さい。

《 記 入 欄 》

10/	① 2004年に実施した院内教育・ 研修	②各院内研修の職種別参加者数														③ 開催時間	④講師	⑤ 諸経費
		医師				看護師		薬剤師		医療技術員		事務管理系		役員	その他			
		研修医	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上	診療科長 以上	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上					
1		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	外部・安全管理部門 その他の院内職員	万円
2		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	外部・安全管理部門 その他の院内職員	万円
3		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	外部・安全管理部門 その他の院内職員	万円
4		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	外部・安全管理部門 その他の院内職員	万円
5		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	外部・安全管理部門 その他の院内職員	万円
6		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	外部・安全管理部門 その他の院内職員	万円
7		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	外部・安全管理部門 その他の院内職員	万円
8		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	外部・安全管理部門 その他の院内職員	万円
9		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	外部・安全管理部門 その他の院内職員	万円
10		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	外部・安全管理部門 その他の院内職員	万円

⑥経費の照会先：

医療の質と安全を保証・改善させるための取組状況に関する調査票【安全管理】

6. 安全管理に係る院外研修・活動の取組状況について

問1：2004年に実施した安全管理に係る全ての院外研修・活動を記入欄の①に記入して下さい。（なお、学会への参加も対象となります）

問2：①に記入した院外研修・活動の参加者数をそれぞれの活動について職種別に記入欄の②に記入して下さい。
 なお、医療技術員とは、診療放射線技師、臨床検査技師及び栄養士など医療に関わる専門技術員を指します。

問3：②に記入した参加者の人数を所属別に記入欄の③に記入して下さい。なお、安全管理関連部門には診療部門等に所属しながら安全管理活動に関わる者を記入して下さい。

問4：①に記入した院外研修の所要時間を記入欄の④に記入して下さい。研修が複数日に渡る場合は、日数に関わらず研修の総時間を記入して下さい。

問5：①に記入した院外研修の諸経費（研修費・交通費・宿泊費等）を記入欄の⑤に記入して下さい。不明な場合、院内での照会先を記入欄の⑥に記入して下さい。

《 記 入 欄 》

①2004年に実施した院外研修	②各院外研修の参加者数												③所属		④所要時間	⑤諸経費	
	医師			看護師		薬剤師		医療技術員		事務管理系		役員	その他	安全管理部門			安全管理関連部門
	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上	診療科長 以上	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上						
1	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円
2	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円
3	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円
4	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円
5	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円
6	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円
7	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円
8	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円
9	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円
10	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円

⑥経費の照会先：

医療の質と安全を保証・改善させるための取組状況に関する調査票【安全管理】

7. インシデントレポート作成・分析等の取組状況について

問1: インシデントレポート作成・分析等について、①活動内容、②件数、所要時間等を記入して下さい。

(例: 【作成】当事者のレポート記入、所属長による確認、データベースへの登録等含む、【分析】根本原因分析、分析ソフトを用いた解析、改善策立案・検証等含む)

問2: インシデントレポートの作成・分析等の活動を実施するに当たり必要となる設備・器材について③項目、④数量、費用等について記入欄に記入して下さい。

(例: コンピュータ、分析用ソフトウェア、複写・印刷費、消耗品費等)

《 記 入 欄 》

【作成】

	①活動内容	②件数、所要時間等 (算出の根拠)
1		
2		
3		
4		

2

【分析等】

	①活動内容	②件数、所要時間等 (算出の根拠)
1		
2		
3		
4		
5		

【活動に要した設備・器材】

	③項目	④数量、費用等 (算出の根拠)
1		
2		
3		
4		
5		

医療の質と安全を保証・改善させるための取組状況に関する調査票【安全管理】

8. 安全管理に係るマニュアル・手順書の作成状況について

問1：1999年以降に作成した安全管理に係る全ての院内共通マニュアル・手順書をそれぞれ記入欄の①に記入して下さい。なお、改訂版の作成についても記入して下さい。

問2：①に記入したマニュアル・手順書を作成した担当者数をそれぞれについて職種別に記入欄の②に記入して下さい。

なお、医療技術員とは、診療放射線技師、臨床検査技師、栄養士など医療に関わる専門技術員を指します。

問3：②に記入した担当者の人数を所属別に記入欄の③に記入して下さい。なお、安全管理関連部門には診療部門等に所属しながら安全管理活動に関わる者を記入して下さい。

問4：①に記入したマニュアル・手順書を作成するのに要した概算の所要時間を記入欄の④に記入して下さい。

問5：①に記入したマニュアル・手順書の作成に要した諸経費（印刷費用・資料収集費用等）を記入欄の⑤に記入して下さい。不明な場合、照会先を記入欄の⑥に記入して下さい。

《 記 入 欄 》

	① 1999年以降に作成した マニュアル・手順書	②各マニュアル・手順書作成の担当者数												③所属		④ 所要時間 (概算)	⑤経費	
		医師			看護師		薬剤師		医療技術員		事務管理系		役員	その他	安全管理 部門			安全管理 関連部門
		経験年数 10年未満	経験年数 10年以上	診療科長 以上	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上						
1		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円
2		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円
3		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円
4		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円
5		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円
6		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円
7		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円
8		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円
9		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円
10		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円

⑥経費の照会先：

医療の質と安全を保証・改善させるための取組状況に関する調査票【安全管理】

9. 外部評価（医療機能評価機構、ISO9001、BS7799、JIMA等による認定・監査）の受審状況について

問1：1999年以降に受審した全ての外部評価の中で、安全管理部門が関与したものを記入欄の①に記入して下さい。

問2：①に記入した外部評価の安全管理に関わる項目の準備を行った担当者数を職種別に記入欄の②に記入して下さい。

なお、医療技術員とは、診療放射線技師、臨床検査技師、栄養士など医療に関わる専門技術員を指します。

問3：②に記入した担当者の人数を所属別に記入欄の③に記入して下さい。なお、安全管理関連部門には診療部門等に所属しながら安全管理活動に関わる者を記入して下さい。

問4：①に記入した外部評価を受審の準備のために要した概算の所要時間を記入欄の④に記入して下さい。

問5：①に記入した外部評価取得に要した経費（監査費用・外部コンサルタント委託費用）を記入欄の⑤に記入して下さい。不明な場合、院内での照会先を記入欄の⑥に記入して下さい。

《 記入欄 》

1999年以降に受審した外部評価	②各外部評価の準備を行った担当者数												③所属		④所要時間	⑤経費	
	医師			看護師		薬剤師		医療技術員		事務管理系		役員	その他	安全管理部門			安全管理関連部門
	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上	診療科長 以上	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上						
1	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円
2	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円
3	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円
4	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円
5	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円
6	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円
7	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円
8	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円
9	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円
10	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	時間	万円

⑥経費の照会先：

医療の質と安全を保証・改善させるための取組状況に関する調査票【安全管理】

10. 医療機器・医薬品等の管理等の取組状況について

問1：1999年以降に新たに開始した医療機器・医薬品等の管理の状況について①活動内容、②件数、費用、所要時間等（算出の根拠）、③1999年の状況について記入欄に記入して下さい。
 （例：医療機器管理の人材の増員、定期点検業務、血液製剤の保冷库・冷凍庫での管理、医療機器安全解析装置の導入等）

《 記 入 欄 》

	①活動内容	②件数、所要時間等（算出の根拠）	③1999年の状況
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			